

**第48回石川県スキー技術選手権大会  
及び第46回東海北陸ブロックスキー技術選手権大会予選会  
並びに第60回全日本スキー技術選手権大会予選会**

主 催	石 川 県 ス キ ー 連 盟		
共 催	北 陸 中 日 新 聞		
後 援	白 山 セ イ モ ア ス キ ー 場		
会 期	令 和 5 年 1 月 2 7 日 ( 金 ) ～ 1 月 2 9 日 ( 日 )		
会 場	白 山 セ イ モ ア ス キ ー 場		
受 付	千 丈 温 泉 清 流 ロ ビ ー		
本 部	千 丈 温 泉 清 流		
公 式 掲 示	千 丈 温 泉 清 流		
[ 役 員 ]			
大 会 長	山 本 外 勝		
大 会 副 会 長	村 本 一 則 北 村 秀 紀 中 川 賢 治 安 井 敏 成 能 登 秀 幸		
大 会 委 員 長	前 寺 清 一		
大 会 副 委 員 長	旭 俊 則		
技 術 代 表	前 田 淳 志		
競 技 委 員 長	藤 堂 学		
競 技 副 委 員 長	大 西 隆 博		
審 判 長	村 上 直 樹		
審 判 員	斎 藤 大 介、新 保 貴 史、西 田 泰 博、能 村 信 子、瀧 下 英 則、森 智 磨		
総 務 主 任	佐 藤 繁 行		
コ ー ス 主 任 ( A )	吉 田 貴 徳		
ス タ ー ト 審 判 ( A )	審 判 員 大 門 誠 ( 他 審 判 員 か ら 選 出 ) 審 判 員 補 助 柿 森 弘 嗣 ( 兼 務 ) 土 上 智		
記 録 係 長 ( A )	上 野 浩 幸		
記 録 係 ( A )	木 村 治 生		
総 務	柿 森 弘 嗣 室 晃 彦 斉 藤 和 輔 金 森 俊 直 榊 原 浩 介 ( 企 画 部 ) ( 北 陸 中 日 新 聞 )		
計 算 係 長	斉 藤 和 輔		
計 算 係	岩 本 俊 介		
競 技 係 員	各 部 ・ ス キ ー 学 校 ・ 出 場 選 手 所 属 ク ラ ブ よ り		
救 護 係	白 山 セ イ モ ア ス キ ー 場 パ ト ロ ー ル 隊		
受 付 ・ 集 合	競 技 役 員 2 7 日 ( 金 ) 1 2 : 3 0 清 流 ロ ビ ー 選 手 受 付 2 7 日 ( 金 ) 1 6 : 3 0 ～ 1 6 : 5 0 清 流 ロ ビ ー 開 会 式 2 7 日 ( 金 ) 1 7 : 0 0 ～ 1 7 : 3 0 清 流 会 議 室 監 督 会 議 2 7 日 ( 金 ) 1 7 : 3 0 ～ 1 8 : 0 0 清 流 会 議 室 競 技 係 員 2 8 日 ( 土 ) 0 6 : 4 5 ま で に 集 合 清 流 ロ ビ ー 競 技 開 始 2 8 日 ( 土 ) 0 9 : 4 5 ( 予 定 ) ～ 競 技 パ ー ン 順 位 掲 示 2 8 日 ( 土 ) 1 6 : 3 0 ～ ( 細 部 別 示 ) 清 流 玄 関 横 閉 会 式 2 8 日 ( 土 ) 1 7 : 0 0 ～ ( 細 部 別 示 ) 清 流 会 議 室 大 会 予 備 日 2 9 日 ( 日 )		

競技種目	28日(土) 4種目で競技	1班ローテーションで実施
	1 大回り (フリー・急・整地)	スイート
	2 総合滑降 (急・整地)	スイート
	3 小回り (フリー・急・整地)	スイート
	4 小回り (中急・不整地)	ロマンス下部

競技種目は場合により変更あり(旧トリプル降場下部を予備とする。)  
小回り種目は、フィニッシュライン通過後スピードコントロールをして完全停止をもって、演技終了とする。  
大回り(フリー・急・整地)ターン数想定は、6～8回転とする。  
小回り(フリー、急・整地)落差のコントロール及び素早い切り替えを観点とする。

表彰	1 総合 男子 1位～6位 (カップ・メダル・賞状・副賞) 女子 1位～3位 (メダル・賞状・副賞)
	2 種目別 1位～3位 (発表のみ)

選手派遣 (選考基準) 予選会の成績にて、全日本大会派遣選手を選考委員会において選考する。  
**(全日本大会派遣枠、男子4名・女子3名)**  
※選手選考委員は教育本部長が招集する。  
(選手選考委員:教育本部副本部長及び各部長)  
※全日本大会出場者は、東海北陸ブロック大会の出場を義務付ける。  
※緊急事態宣言等により大会不成立となった場合、全日本通達(別示)による他、選手選考委員会の決定を優先する。  
**※全日本派遣選手最終決定は、ブロック予選終了後とする。**  
**(ブロック全日本出場枠男女それぞれ1枠を考慮)**

参加資格 \* SAJ1級以上で、所属クラブ会長の承認を得た者  
\* 18歳以上であること。  
\* スポーツ傷害保険加入済みであること。  
\* 上記要件を満たしたものは、オープン参加を認める。

参加費 6,000円

☆締切日 令和 4年12月30日 (金)

☆申込先 〒929-0115 能美市下ノ江町 西205-1 室 晃彦宛  
TEL 0761-55-0701  
携 090-7745-8316

☆振込先 ゆうちょ銀行 (郵便局窓口 又は ATMより振込お願いします。)  
口座名義 石川県スキー連盟教育本部  
口座番号 00770-8-45383

☆申込方法 所定の参加申込書に従いクラブごとに、申込先に郵送のこと。  
(※各クラブ長の認印を必要とする)  
申込書は、所属団体より入手 若しくは、石川県スキー連盟ホームページよりダウンロードして必要事項を記入し、**振込用紙のコピー**とともに上記へ送付する。

#### クラブ対抗

- (1) カテゴリー1において実施する。
- (2) 所属クラブの男子2名女子1名で1チームとし、同一クラブより複数の申し込み可能(A, B, Cとチーム分けする。)
- (3) 順位の決定  
申し込み時に編成した(男子2名女子1名)の合計点で競う。  
優勝チームには賞状とカップ(持ち回り)を贈呈

#### カテゴリー2

種 目 各種目スタート位置をやや下部に設定する。  
表 彰 総 合 1位～3位(賞状・副賞)  
(カテ2参加全選手中)  
シ ニ ア カテ2シニア枠にてエントリー選手のみ対象  
(45歳以上) 男子1位～3位(賞状)  
女子1位～3位(賞状)  
ジュニア 男子1位～3位(賞状)  
(中学生以下) 女子1位～3位(賞状)  
上位入賞者に副賞あり  
種目別表彰は実施しない

選手派遣 無し

参加資格 \* SAJ2級及び同等の技術を要するもの。  
(学生・一般・シニア(45才以上)・スキー愛好者等)  
\* 18歳以下は親権者の承諾書欄に署名捺印のこと。  
\* スポーツ傷害保険の加入・未加入を確認すること。

参加費 4,000円 (高校生以上、一般及びシニア)  
3,000円 (小・中学生)

☆締切日 令和 5年 1月 13日 (金)

☆申込先 〒929-0115 能美市下ノ江町 西205-1 室 晃彦宛  
TEL 0761-55-0701  
携 090-7745-8316

☆申込方法 所定の参加申込書に従い、申込先に郵送のこと。  
申込書は、所属団体より入手 若しくは、石川県スキー連盟ホームページよりダウンロードして必要事項を記入し、**振込用紙のコピー**とともに上記へ送付する。

## 競技規則

### ●競技規則を次の通り定める

- 1 競技中は、必ずヘルメットを着用しなければならない。
- 2 競技中は、レーシングスーツ及びワンピースの着用は禁止とする。
- 3 競技者は種目別スタート地点に10分前に集合し、スタート審判のコールを受け、自身で応答しなければならない。
- 4 競技者は、前者の出発後、直ちにスタート地点に立ち出発の準備をしなければならない。
- 5 競技者はスタート審判の出発合図により出発しなければならない。直ちに出发しない場合は当該種目は棄権とする。
- 6 フィニッシュは、競技コートの下方に設けられた旗門を結ぶフィニッシュ・ラインの通過をもって演技終了とする。
- 7 競技者は、転倒等により、演技を中断した場合は、その位置から速やかに再スタートする。
- 8 用具の離脱については、競技者自身で処理し、他の援助は認められない。ただし、競技進行上あるいは安全確保から競技役員等が処理した場合はこの限りではない。
- 9 競技斜面設定後のインスペクションについては、コート外から行い、コート内の立ち入りはできない。ただし、競技委員長が認めた場合横滑りによりインスペクションを実施することができる。この場合必ずゼッケンを外側に着用しなければならない。
- 10 途中棄権をした場合の当該種目の得点は0点となるが、次の種目からの出場権は、保持される。

### ●順位の決定

- 1 各種目の順位は、種目ごとに決定する。
- 2 総合成績の順位は、合計得点により決定する。
- 3 配点は、5審3採の300点満点で実施する。
- 4 同点の場合は、5審5採を採用する。
- 5 更に同点の場合は、小回り不整地種目の点数を優先する。

### ●順位の抗議

- 1 **リザルトの発表から、20分を抗議時間とする。**
- 2 **抗議は、各チーム監督・代表者(選手と兼任可)から行う。**
- 3 **抗議時間終了後、閉会式を実施する。**

### ●ゼッケンの配布及び回収

- 1 ゼッケン配布カテゴリー1は、選手受け付け時に各クラブ毎にまとめて監督(代表者)に貸与する。
- 2 各選手は、競技終了後指定場所に返納する。(終了後、コート下部で回収する。)
- 3 棄権した選手のゼッケンは監督(代表者)または本人が責任を持って返納すること。

### ●使用用具

- 1 使用する用具・用品 カテゴリー1は原則としてSAJ公式用品委員会に認定された用具・用品以外は認めない。
- 2 用具・用品に表示される商標及び社名 カテゴリー1は原則としてSAJ規定によるもの以外は認めない。

●大会中の怪我について

大会中の怪我については自己責任とし、主催者側はその責を負わない。

●コース整備について

各競技中に選手によるコース整備を実施する。

(細部の要領については、別に示す。)

●その他

天候等により、競技種目を変更する場合がある。

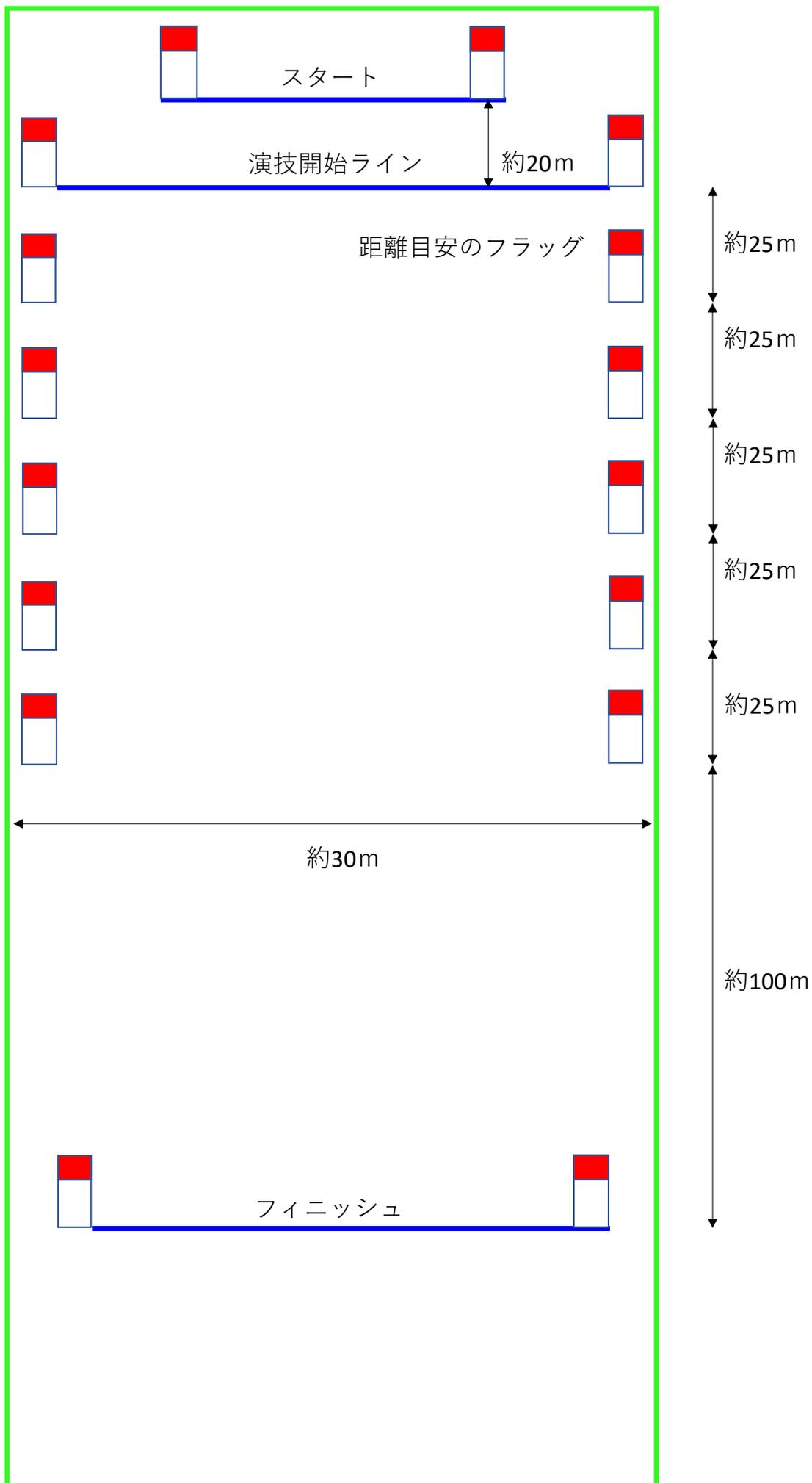
コロナ対策について、県連が示したガイドラインに基づき全大会関係者が厳守せよ。

役員選手とも開会式時を基準として、2週間分の間診票を提出すること。

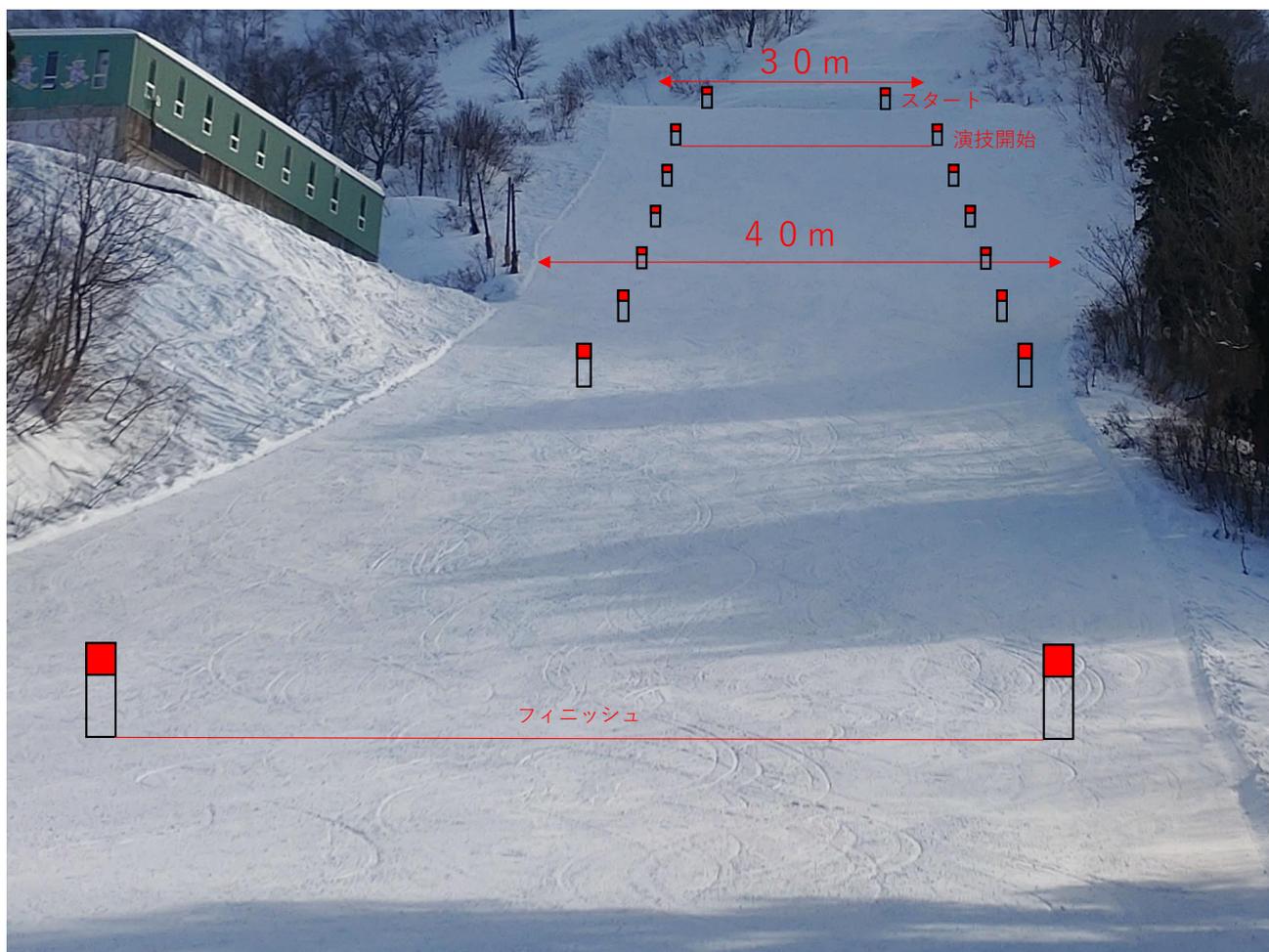
やむを得ない場合は、大会当時の07:30までに本部に提出すること。

緊急事態宣言等により大会中止となった場合の措置等については別示する。

技術選  
コース設営  
(案)



<設営イメージ> ※フラッグはサイドネットに対しコース内に設定する



#### コース設定の目的

第59回全日本技選の大回りにおける規制方法を参考に設定する。

- ・大回り  $R \geq 25$  m前後のマテリアル仕様による回転半径を想定
- ・1ターンの落差2.5m、左右のターン幅1.5mの目安とする

※1 フラッグの設定はあくまでも目安であり、それに合わせてターンするといった規制ではない。

※2 教育本部総会で発表した案に対しコース幅が4.0m確保できないためセンターラインのマーキングは行なわない。